



定年のない人生、 同年代の仲間への伝道・牧会に取り組む

家の教会「マンナ・ミルトス」
中川 春美 (徳島県吉野川市)

私の職業はケアマネジャーです。生来仕事好きな私は、忙しい仕事と、所属している無教会のキリスト集会に熱心に参加し、充実した日々を送っていました。19年前に会社を独立し、有限会社「マンナ在宅支援ミルトス」と名付けました。県外で看護師をしていた娘もケアマネジャーの資格をとり、帰ってきて二人での事業所となりました。仕事の中で、祈りがなければ自分の力は何もない事を痛感し、社長であるイエス様を中心にして、祈りつつ利用者が抱える様々な問題解決に当たっています。

3年半前、所属していた無教会の集会から独立し、家の教会「マンナ・ミルトス」として、家族三人で礼拝を始めました。毎日曜日朝の主日礼拝と、夕方には車で30分程離れた「美容室ルカ」で義妹との夕拝もしています。去年9月に娘が正式に聖書を学びたいと、JTJの牧師志願科に入学させていただきました。毎朝やってくる前日授業で受けた感動を話し、「お母さんも入学したら」と勧められました。そして私も11月に信徒牧師科へ入学しました。今では、私も先生方の講義に感動し、素晴らしい神学校に出会えたことを神様に感謝する毎日です。

月2回、Zoomで「通信学習生の集い」に参加してい



会社の看板の前で娘と



家の教会での礼拝の様子

ます。皆さんから霊的な良い刺激を受け、祈り、賛美し、励まし合えることから、キリストの体としての普遍的な教会の一員とされていることを強く実感しています。そこには在学中から熱心に伝道されている方々がいて、尊敬しています。イエス様を中心とした交流を通して、私達の小さな家の教会も、神様が新しい世界に導いてくださっていることに感謝しています。

私は今、73歳です。テレビ小説「あさが来た」で有名な広岡朝子さんも、晩年に熱心なクリスチャンとなり、亡くなるまで伝道に励んだと紹介されています。私も罪からの解放と魂の救いを経験した22歳の時から、伝道をと願っていましたが、今この年齢になってからJTJの学びにより、道が開けようとしています。振り返ると、ここに至るまでの道を、神様が全て導いて下さってきた事を強く感じます。

人生に定年はなく、クリスチャンの命は永遠なので、誰でもみな若いと言えます。今後人の魂の救いを目指して取り組んでいけたらと夢を描きます。主ご自身にその力があり、委ねらせてこの道をゆくのみです。日本人の魂が一人でも救われるために、同年代の仲間が増える事を祈り願っています。

スモール イズ ビューティフル

茅ヶ崎のハウスチャーチについて、その実態、教会活動を紹介します。

大切にしている、みことばがあります。

1. 二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にあるのである。(マタイ18:20)
2. しかし、あなたがたは、選ばれた民、王の系統を引く祭司、聖なる国民、神のものとなった民です。それは、あなたがたを暗闇の中から驚くべき光の中へと招き入れてくださった方の力ある業を、あなたが広く伝えるためなのです。(1ペテロ2:9)

2人でも3人でもイエスが中心におられるならそれが教会です。さらに、私たちクリスチャンは皆祭司です。そして私達自身が祭儀を行い、みことばを伝えるのです。

私たちの教会には専任牧師はいません。集会をリードする司会役がいるだけです。そして皆が神様(聖書)から直接、みことばを聞きます。

集う皆さん(常時7~8人)はそれぞれ自分の仕事を持っています。教師、元校長、翻訳家、主婦、農夫、カウンセラー、公務員、学生等で職業を持ちながら祭司として働いています。パウロと同じテントメーカーです。

皆が集まるのに日曜日が都合が良いので、礼拝は日曜日に行っています。10人弱の小グループなので市の会議室をレンタルして礼拝をしています(負担を避けて基本的には個人の家を借りない)。会堂は持っていません(敢えて持ちません)。10人以上になったら分割するのが良いと思っています。必要に応じて、いつでも、どこでもハウスチャーチを作ります。最近も横浜にできました。そして数名の人は、ウィークデーに2~3人で別のハウスチャーチ(集会)を持っています。家で、コーヒESHOPで、事務所、場所は色々です。牧師も会堂もありませんので、各自が教会とは関係なく示されたところへ献金しています(既存教会の献金の大半が牧師謝儀、会堂維持費の様ですが、私達は経済的にとても軽く自由です)。



茅ヶ崎ハウスチャーチメンバー
小平 渉 (神奈川県海老名市)

礼拝については、特別な形があるわけではありません。賛美、祈り、聖書の学び(対話形式)、聖餐式、証し、などがあります(敢えて言うなら、メッセージはありませんが、一人ひとりが神さまから直接みことばを受けます)。司会役は進行係で、特別な奉仕はありません。出来るだけ、雑事を少なくしシンプルにしています。週報、会計報告、会員登録、会員総会などありません。又、組織はなく、どの教派教団にも属さず、メンバー制もありません。国籍は天にあると言うことだけです(国に登録も必要ありません)。キリスト教年鑑の統計には私たちの数は入っていませんが、れっきとしたクリスチャンです。礼拝では、聖書から教えられたこと、各自の証や祈りの課題、近況などを話すので、2時間を費やします。その後いつも食事に行き(小さな群れなのでみんなでレストランに行く)交わりをします。

ハウスチャーチのDNAは、①小さいこと、②万人祭司、③テントメーカーです。仕事を持ち祭司として働くのがこれからの、(実はイエスの時代にパウロがしていた)古くて新しい伝道、教会だと思います。小さくて良い、いや小さいほうが良いのです。2人から始まりました。そして主の導きにより、もう10年以上続いています。また今は、海老名に男性のクリスチャンが一人与えられたら、新しくハウスチャーチを始めたいと願っています。お祈りください。

E-mail:watarukodaira724@gmail.com

JTJ YouTube チャンネルで、筆者出演の「教会開拓・ハウスチャーチを考える」が視聴できます。



私を遣わしてください

宗教法人 ニューライフ・ミニストリーズ
聖書フォーラムグループ
高坂のぞみ教会 牧師

上野 有 (埼玉県東松山市)



妻と共に

『すべてのことを、神様からいただいた感謝の応答として、喜んで行う!』をモットーに、自宅を開放してスタートさせた教会も、この5月でちょうど10年となります。アットホームで自由な雰囲気を目指し、御言葉の学びを大切にする教会形成を心掛けてきました。岸先生に教わった「講解説教に勝るものなし」「テキストはコンテキストから*1)」という教えをいつも心に刻み、10年間そのようなメッセージを語り続けています。

去年は、不思議な導きをいただき、2か所にチャペルが与えられ、現在は3か所の会場と、自宅参加の方をリモートでつなぎ、ハイブリッド*2)形式の礼拝やプログラムを行っています。メッセージはYouTubeで聞いていただけるようにチャンネルを開設し、500本以上のメッセージをアップしています。最近では、YouTubeのメッセージを聞いてくださり教会に訪れる方も出てきました。

また、YouTubeの視聴者の8割、参加メンバーの1/3がシニア層ということから、今年4月より、『シニア向け礼拝(毎週水曜午前)』を開始しました。ハイブリッドで、どなたでも参加いただける礼拝ですが、

クリスマス祝会にて



特にシニア層の皆様が親しんでおられる賛美や、詩篇の朗読、そしてローマ人への手紙よりわかりやすいメッセージを語っています。

一方で、10代20代のユース世代の仲間も大勢与えられており、一泊修養会、バーベキュー大会、バドミントン大会など各種イベントも盛んです。

ちびっ子が集まる『のぞみ教会学校』も、会場参加と自宅参加のハイブリッド形式で、賛美、パペット劇場、おはなし、工作など充実した内容で毎週行われています。

近隣の教会との協力の輪も広がりがつつあり、地域密着の宣教活動、同時にネットを活用したグローバルな宣教活動の両面から、主の働きを進めていきたいと願っています。また、教会内の高齢化に備え、シニアサポートの取り組みについて計画を始めたところです。

10年前に妻と「教会をはじめよう」と立ち上がった時のイメージとは、かなり想定外の形になっているのですが(笑)、私たちの想像や願いを超えた主の御業がなされていることを肌で感じ、感謝とおそれを抱きます。「ここに私がおります、私を遣わしてください」という願いを持ち、日々歩ませていただきたいです。感謝。

*1) テキストはコンテキストから:「聖書箇所はその文脈において理解する」の意味

*2) ハイブリッド:教会での対面礼拝とオンライン礼拝を同時におこなうこと

